

伊勢「蛸びや」

デザイン学科 木住野彰悟 Shogo Kishino



伊勢神宮内宮近くに大正元年（1912年）誕生した「蛸びや」。創業100年を超え、これまで以上の「旅のおもてなし」と、伊勢の食と工芸の魅力を伝える土産をそろえ、「蛸びや大食堂」「蛸びや商店」としてリニューアルすることになりブランディングを担当。

「蛸びや」が伊勢を代表する店舗となるため、ロゴには名称の由来でもある伊勢名物「伊勢エビ」と商売の神様「恵比寿様」を筆頭に、伊勢、神宮を象徴する様々なアイテムをピクト化し並べデザインした。

また、歴史ある街並みの中で100年以上の歴史のある「蛸びや」が、今後も長く続くブランドであるために、ピクトはシンプルなラインと面で構成する現代的な手法に、日本に古くから伝わるグラデーションの色使いを用い、歴史深いこの場に馴染み、さらに今後長く続くブランドをつくるアイコンとなるようにしている。

また、このアイコンをパッケージや袋に使用することで、伊勢を地元を持ち帰り、伊勢に思いを馳せるきっかけになればと思っています。



東京生まれ、廣村デザイン事務所で廣村正彰氏に師事、2007年に6D設立。企業や商品のブランディングを中心に、ロゴ、パッケージ、サイン計画など多岐に渡り活動。主な仕事に、麒麟「Home Tap」AD、パナホーム「atim」ブランディング、新宿新南口「NEWoMan」・「LUMINE 0」サイン計画など。主な受賞に、カンヌ、D&AD、one show、アジアデザイン賞、サインデザイン賞、ADC賞、JAGDA賞他国内外多数。2016年D&ADデザイン部門審査員、2017年グッドデザイン賞審査員。

